

◆明治時代に日本乳業史の礎となった復刻「<sup>きんし</sup>金鷄煉乳（ミルク）」ブランド◆  
「明治村 金鷄印ミルクプリン」を新発売  
発売日：2022年4月29日（金）より

博物館明治村（犬山市内山1番地、理事長：山本 亜土）では、当館オリジナルのお土産として企画した新商品「明治村 金鷄印ミルクプリン」を4月29日（金）より発売いたします。

明治29（1896）年に日本初の国産練乳ブランドとして発売され、日本での乳業発展の礎となった「金鷄煉乳（ミルク）」。この度明治村では、復刻された「金鷄ミルク」をプリンの材料に使用して、他では味わうことができない「明治村 金鷄印ミルクプリン」を開発いたしました。そして、当商品の取扱いを明治村内の売店で開始いたします。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 商品名 明治村 金鷄印ミルクプリン
2. 発売開始日 2022年4月29日（金）
3. 販売店舗 ミュージアムショップ・SL東京駅売店  
※博物館明治村内
4. 価格 プリン3個入り 1,450円（税込）  
※ご購入には別途入村料等が必要です



明治村 金鷄印ミルクプリン（イメージ）

5. 商品特長 「金鷄（きんし）煉乳（ミルク）」は明治時代に日本で初めて真空釜により製造された練乳で、現在もその基本技術は練乳を製造する各メーカーへ受け継がれています。明治村では、この復刻された「金鷄ミルク」をプリンの材料に使用して商品化し、練乳特有の風味とコクで優しい甘さと滑らかな舌触りに仕上げました。明治時代を思わせるレトロな雰囲気のパッケージもあわせてお楽しみください。

【参考】『金鷄ミルク』とは

明治時代に静岡県三島市で牛乳販売をしていた花島兵右衛門（はなじまひょうえもん）によって、余った牛乳の活用法として、練乳の生産が開始されました。その後改良を重ね、明治29（1896）年に最初の国産練乳「金鷄ミルク」として販売を始め、優れた品質で国産品随一の商品として評判になりました。ネーミングの「金鷄印」は、当時輸入練乳の代表的な存在であった「鷲印（Eagle Brand）」に対抗する意味があったとされています。品質の評価も高く輸出もされ、明治時代のトップブランドであったそうです。「金鷄ミルク」の生産工場であった花島練乳場は、大正6（1917）年に北海道札幌練乳場と合併して極東練乳（株）となりました。その後、昭和9（1934）年に森永練乳（株）（現：森永乳業）と合併して昭和練乳（株）となり、昭和10年以降は、明治製菓が経営を引き継いでいます。花島家は経営を離れましたが、令和3（2021）年に日本乳業史の中で忘れ去られないよう「金鷄ミルク」の商標が再び登録されています。「明治村 金鷄印ミルクプリン」の原料の練乳製造は、静岡県田方郡にある昭和九年創業の（株）日清練乳です。原料のミルクは、花島兵衛門ゆかりの酪農地帯の原料乳を使用しています。

参考文献 三島市郷土資料館研究報告11 三島の酪農・乳加工業-花島兵衛門の事績を中心に-笹山曜子学芸員

三島市郷土資料館収蔵品 参考

神戸大学附属図書館公開デジタルコンテンツ利用許諾済 新聞記事文庫乳製品工業（一・四・五）：現在及び将来

<この件に関するお問合せ>

博物館明治村／担当 小川・高橋・反端

〒484-0000 愛知県犬山市内山1 TEL：0568-67-0314 FAX：0568-67-0358

Mail:meiji-info@nrr.meitetsu.co.jp